

下水道管路施設災害復旧支援マニュアル 平成 30 年 3 月 正誤表

(公社) 日本下水道管路維持管理業協会

2018 年 10 月 3 日

頁	図・表	行	誤 (下線部は追加・修正箇所。網掛部は削除する箇所)	正 (下線部は追加・修正箇所)
7	図 1.4.(1)		【事前ルール化の効果】 <u>10</u> 日短縮	【事前ルール化の効果】 <u>19</u> 日短縮
42	表 3.8.(2) 2/2	右 11	(<u>南</u>)四国パイプクリーナー	(<u>株</u>)四国パイプクリーナー
101		2	応急復旧における組織体制は、状況により大きく異なるが、汚水緊急搬送の場合…	応急復旧における組織体制は、状況により大きく異なるが、 <u>汚水緊急搬送及び緊急清掃</u> の場合…
101		4 11	(1) 統括前線基地責任者	(1) 統括前線基地責任者 <u>及び副統括前線基地責任者</u>
101		5 21	(2) <u>副統括前線基地責任者</u>	(2) <u>支援班長</u>
101		9~ 10	現場作業は3人/班(副統括前線基地責任者、運転手、清掃作業員)を基本とするが、緊急のため必要な人数を集められない場合は限られた人数で対応することもある。	応急復旧では前線基地に <u>統括前線基地責任者及び副統括前線基地責任者を置くとともに、現場には支援班長と車両毎に特殊運転手1名(交代制の場合、交代要員も含む)</u> を付ける。緊急のため必要な人数を集められない場合は限られた人数で対応することもある。 <u>なお、土砂災害等で管路内清掃を行う場合、高圧洗浄車及び給水車を配置し、清掃作業員も必要な人数を配置することができる。</u>
101		12	統括前線基地責任者は、前線基地における…	統括前線基地責任者 <u>及び副統括前線基地責任者</u> は、前線基地における…
101		20	⑦ 各班の出動実績の整理	⑦ 各班の出動実績の整理 支援班の車両が1班1台の場合、副統括前線基地責任者が下記(2)の支援班長の業務を兼務する。 <u>支援班数が多い場合、各班を指揮・管理する前線基地責任者を、必要に応じ配置することができる。</u>
101		22 ~ 29	副統括前線基地責任者は、現地において作業の指揮を執るとともに、被災自治体担当者と協議し、作業内容等を確認する。作業中は常時配置となるので、3交代制とし、交代要員も確保する。業務内容は、以下のようである。 ① 現場における作業の詳細を被災自治体担当者に確認 ② 運転手に対して作業内容と注意事項を説明 ③ 運転手・交通誘導員・清掃作業員に対する現場における作業指示 ④ 作業内容の日報作成(車両、運転手名、使用資機材等) ⑤ 写真撮影(車両ナンバーの分かるように)	支援班長は、現地において作業の指揮を執る。支援班長は下記(3)の運転手を兼務することができる。業務内容は、以下のようである。 ① 運転手に対して作業内容と注意事項を説明 ② 運転手・交通誘導員・清掃作業員に対する現場における作業指示 ③ 作業内容の日報作成(車両、運転手名、使用資機材等) ④ 写真撮影(車両ナンバーの分かるように)

101		31	運転手は、24 時間体制となるので、3 交代制とし、交代要員も確保する。	各車両の運転手は、24 時間体制となるので、3 交代制とし、交代要員も確保する。 <u>給水車を配置する場合は一般運転手を付ける。</u>
101		33 ～ 37	清掃作業員は、原則常時 1 名を確保する。このため、3 交代制とし、交代要員を確保する。清掃作業員の業務内容は以下のようである。 ① 現場の整理整頓 ② マンホール蓋の管理 ③ 運転手に対する補助作業	<u>管路内及びマンホール周辺等の清掃を行う場合、清掃作業員は、原則常時 1 名を確保する。このため、3 交代制とし、交代要員を確保する。1 名で足りないようであれば必要人数配置する。</u> 清掃作業員の業務内容は以下のようである。 ① 現場の整理整頓 ② マンホール蓋の管理 ③ 運転手に対する補助作業 ④ 人力清掃
104	表 8. 1. (1) 2/2	下 か ら 2	マンホール調査、管きょ調査 (報告書作成要員)	マンホール調査、管きょ調査 (現場調査員)